

## ■平成 22 年度 催物案内

### 第 64 回岐阜県美術展

一般部：6月5日（土曜）から6月13日（日曜）まで

一般部は、日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門からなる公募展。

青年部：6月17日（木曜）から6月20日（日曜）まで

青年部は、絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門からなる公募展。

少年部：6月24日（木曜）から6月27日（日曜）まで

少年部は、絵画・デザイン、書写の2部門からなる公募展。

---

### 20 世紀美術への招待状

ーピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳までー

富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による

会期：7月16日（金曜）から8月22日（日曜）まで

ピカソ、シャガール、横山大観、竹内栖鳳、一度は見たい！20世紀美術の巨匠たちの作品が一堂に会します。ロートレックからウォーホルまで、菱田春草から千住博まで、そして永井一正、田中一光、横尾忠則らの優れたポスター芸術のコレクション。富山県が誇る二大美術館の100点を越える作品により、20世紀の美術の世界へご招待します。

---

### ストラスブール美術館所蔵

語りかける風景

コロー、モネ、シスレー、ピカソまで

会期：9月1日（水曜）から10月17日（日曜）まで

ドイツと国境を接するフランス・アルザス地方の中心都市、ストラスブール。その主要な美術館であるストラスブール美術館は、優れたコレクションで知られています。本展では、「水辺の風景」などのテーマに沿って、コロー、モネ、カンディンスキー、ピカソらによる18世紀から20世紀までの近代西洋風景画の系譜をたどります。

---

### 現代へのまなざし

没後 10 年

三尾公三展

会期：11月2日（火曜）から1月30日（日曜）まで

三尾公三は1981年創刊の週刊誌『FOCUS』の表紙絵で広く知られている画家です。エアークラシの技法を駆使して、虚構と現実が複雑に交差する幻想的な作品を描き一世を風靡しました。没後10年を機に、三尾公三の偉業を振り返る機会とします。

---

## 「伊藤慶二 こころの尺度 + 林武史 石の舞・土の宴」展

会期：2月22日（火曜）から5月8日（日曜）まで

土岐市出身、在住の伊藤慶二は、最も早い時期から、やきものによる立体造形を手がけてきた第一人者です。近年は「面」のシリーズで、全く新たな境地を示し、周囲を驚かせました。岐阜市出身で東京芸術大学准教授の林武史は、長年にわたって御影石によるスケールの大きな彫刻を制作し続けていますが、一方で従来にない体験型の作品を展開させています。素材も表現も異なる二人の作家によって創り出される「場」。現代美術の可能性をお楽しみください。